

調停事項の価額 〇〇〇, 〇〇〇 円  
ちょう用印紙額 〇〇〇, 〇〇〇 円  
予納郵便切手の額 2, 600 円

この各欄への記載方法は、裁判所にお尋ねください。

調停  
(□については、レ印を付したのもの)

受付印

申立書は、裁判所用と相手方用として、正本、副本の2部を提出してください。相手方が複数の場合は、相手方の数+1となります。

## 調 停 申 立 書

東京簡易裁判所 御 中

令和 〇〇 年 〇〇 月 〇〇 日

申立書を作成した日又は裁判所へ提出する日を書いてください。

申立人の住所・氏名・電話番号等

郵便番号 〒 〇〇〇 - 〇〇〇〇

住 所 東京都墨田区〇〇4丁目〇〇番〇〇 〇〇アパート〇〇号室

氏 名 墨 田 太 郎

印

正本、副本ともに、あなたの認印(スタンプ式は不可。)を押してください。申立人が会社である場合は代表者の印を押印します。

送達場所  上記住所地  次のとおり

「送達場所」とは、裁判所からの郵便物を受け取る場所を指します。住所以外の場所で受け取ることを希望する場合は、「次のとおり」にチェックし、その場所を記載してください。

電 話 〇〇 - 〇〇〇〇 - 〇〇〇〇

ファクシミリ 〇〇 - 〇〇〇〇 - 〇〇〇〇

あなたへの連絡先電話番号、ファクシミリ番号を書いてください。

相手方の住所・氏名

郵便番号 〒 〇〇〇 - 〇〇〇〇

住 所 東京都千代田区〇〇3丁目〇〇番〇〇

氏 名 甲 野 次 郎

相手方の住所、氏名を書いてください。

(相手方が会社であるときは、履歴事項全部証明書等を見て、本店所在地、会社名、代表者の氏名を書いてください。)

申立書には、連続するページ数を書いてください。

申 立 の 趣 旨

相手方は、申立人に対し、別紙物件目録記載の不動産について、令和〇〇年  
〇〇月〇〇日売買を原因とする所有権移転登記手続をすること  
との調停を求めらる。

あなたが調停手続で、どのような解決を求めらるのか、その結論を簡潔に書いてください。

## 紛争の要点

- 1 相手方は、申立人の友人である申立外〇〇〇〇の実兄である。
- 2 申立人は、平成〇〇年〇〇月中旬ころ、前記友人から、相手方の所有する別紙物件目録記載の土地、建物（以下「本件不動産」という。）を購入することを勧められ、同月下旬ころ、妻と一緒に本件不動産を見学した。
- 3 申立人は、勤めている会社を、あと3年で定年退職する予定であり、老後の定住場所に使用するため、本件不動産を購入することを決意し、令和〇〇年〇〇月〇〇日、相手方から、代金8200万円、内金1640万円を契約時に支払い、残金6560万円を令和〇〇年〇〇月〇〇日限り支払うとの約定で買い受けた。
- 4 申立人は、相手方に対し、約定のとおり、契約時に1640万円を、令和〇〇年〇〇月〇〇日に6560万円を支払った。
- 5 その後、申立人は、相手方に対し、再三にわたって、本件不動産の所有権移転登記手続に協力するように求めてきたが、少し待ってほしいなどと言って応じてもらえない。
- 6 よって、申立人は、相手方に対し、申立の趣旨記載の所有権移転登記手続を求める。

あなたと相手方との間で、紛争となっている内容を、具体的かつ簡潔に書いてください。  
どのような事実経過があったのか、その結果、法律的にどのような解決を求めるのかを書いてください。

## 添付書類

- 不動産売買契約書 写し
- 登記事項証明書（土地）
- 登記事項証明書（建物）
- 

申立書の添付資料を記載します。例示されている書面（証拠書類等）があれば該当の口にチェックしてください。例示がない場合は、空欄の口にチェックして、その書類の名称を記載してください。  
申立人又は相手方が会社の場合は、その会社の履歴事項全部証明書等を添付します。

## 物 件 目 録

## 1 土 地

所 在 東京都〇〇市〇〇2丁目

地 番 〇〇番

地 目 宅地

地 積 〇〇〇. 〇平方メートル

## 2 建 物

所 在 東京都〇〇市〇〇2丁目〇〇番地

家屋番号 〇〇番

種 類 居宅

構 造 木造〇〇葺2階建

床 面 積 1階 〇〇. 〇平方メートル

2階 〇〇. 〇平方メートル